

2020(令和2年) ハタハタ情報 No.2

令和2年10月28日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2020年10月14日～10月17日に、留萌沖の水深210～340mの5調査点でトロールによる漁獲試験を行い、ハタハタを採集しました。

- 1歳以上の採集尾数は2015年以降では2番目に少なかった。
- 年齢は1歳魚（2019年級）が主体か。ただし3歳魚（2017年級）もある程度生き残っている可能性あり。
- 水温は深度350m以浅で高め。

1. ハタハタの採集状況

今回の調査では、留萌沖でトロールを5回曳網し、ハタハタは合計で18尾（1歳以上：7尾，0歳：11尾）しか採集されませんでした（図1）。1歳以上の1マイルあたり採集尾数は平均1.3尾であり、2015年以降では2017年に次いで低い採集密度でした（図2）。

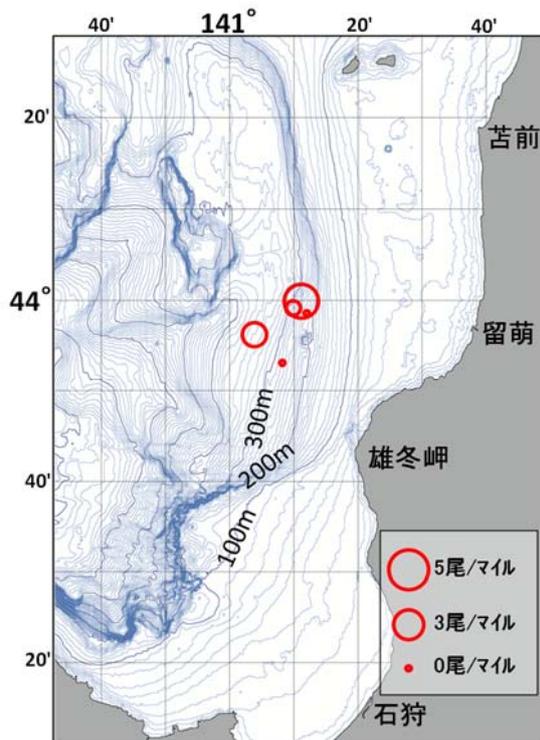


図1 2020年10月のトロール調査による採集尾数（1歳以上）

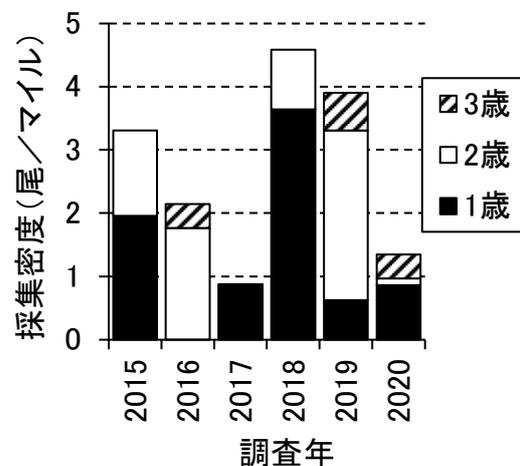


図2 10月トロール調査による1歳以上の採集密度

2. ハタハタ（1歳以上）の体長と年齢（図3）

今回の調査では1歳以上の7尾のうち雌は2尾でした。雌雄混みの年齢組成は1歳（2019年級：2019年生まれ）が最も多く、2歳と3歳は同数でした。体長は3歳（21cm）を除くと、13～15cm台と小さめでした。

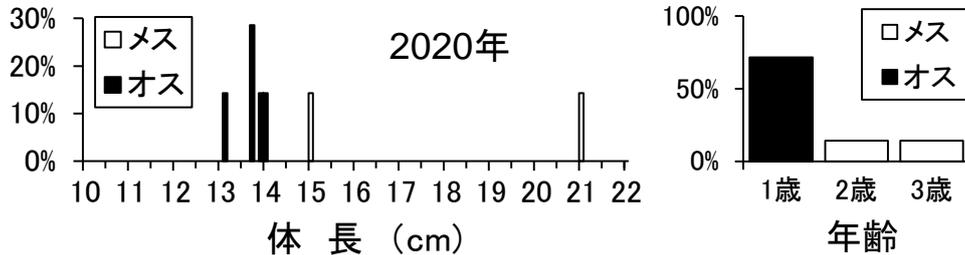


図3 今回の調査で採集されたハタハタ（1歳以上）の体長組成と年齢組成

3. 成熟状態

ハタハタは成熟（生殖巣の発達）が進むにつれ南下して、沿岸にて産卵することが知られています。今回の調査では、雌の採集尾数が少ないため、その成熟度から石狩湾前浜への来遊時期を判断することはできませんが、高豊度であった2017年級（3歳）の生き残りが多ければ、来遊時期は早くなる可能性もあります。

4. 水温（図4）

今回の調査中に実施したCTDによる雄冬沖（北緯44度，東経141度）における表層から底層にかけての水温観測結果を，過去5年の平均値と併せて示しました。

今回の調査で観測した水温は，底層付近（深度380m）で0.8℃と過去5年平均と同程度でしたが，深度350m以浅では高い値となっていました。

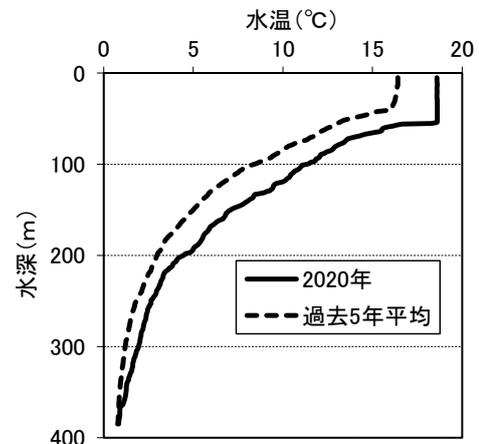


図4 雄冬沖（44° N, 141° E）の10月中旬の水温分布

5. 今後の調査など

今年度の留萌沖での調査船によるトロール調査は終了です。関係漁業者の皆様，調査へのご配慮ありがとうございました。今後は，各漁業による漁獲物の標本採集調査などを実施いたしますので，重ねてご協力をお願いいたします。